市民賞に三氏

社会福祉や民生事業に功績

11月3日、「第28回南国市民賞」の授与式が行われました。

医療活動や、社会福祉、産業発展、交通安全などの分野で顕著な実績と功績が認められたもので、今後のますますの活躍が期待されます。

受賞者は、次のとおりです。

大町　三千男さん（堀ノ内）
大正十年十一月十五日生まれ

市社会福祉協議会長、岩村農協組合長、市水田営農活性化対策協議会長を歴任。物部川右岸土地改良区理事長として活躍、その先見性と実行力により地域住民の所得の向上などに成果をあげられました。

小学生と老人のふれあい活動の活性化など地域ネットワークづくりを展開、その業績と労苦に市民から大きな感謝と信頼が寄せられています。

山下　兵太郎さん（下末松）
大正十年一月二十三日生まれ

交通安全協会や暴力排除協会、社会福祉協議会役員として活躍し、数々の表彰を受けられています。また、老人クラブ連合会長としても、その企画力と運営面で指導力を発揮し、活躍されました。

生涯学習フェスティバル実行委員・交通安全市民会議委員、姉妹都市親善協会理事、国体準備委員など幅広い活動を続けています。

温厚で誠実な人格、ユニークで明るい人柄と笑いの中での、活躍が光っています。

浦松　金吉さん（立田）
昭和七年二月八日生まれ

昭和44年から日章、岩村地区の学校医ならびに保育所の園医として児童・生徒の心身の健康の向上に対する指導、健診活動に貢献されるとともに保育、教育施設の充実に多大の支援活動を続けられました。

また、市献血推進委員会長として地域住民の生命を守り、「心身の健康づくり」講話会などをとおして、生涯充実した生活を送るための健康管理意識を向上させるなど奉仕活動を続けられました。

国体だより

十月十二日から開催された第五十一回広島国体を、市国体準備委員会と事務局の五人が視察しました。

三原市のリージョンプラザという体育館で行われたバドミントン競技会について報告します。

開会式は、午前八時から行われ、役員・選手・観客やレセプションでのマスゲーム、その他のボランティアなど三千人を超える人々が参加し、市民総ぐるみで国体を成功させようとの意気込みがいっぱいでした。

競技は、成年男・女、少年男・女の四種別で行われ、例年どおり九一五チームが参加していました。高知国体では、規模が拡大され、百二十六チームが参加する予定になっています。このため限られた日程の中で競技を消化するために、現在は六コートを使用していますが、八コートが必要となります。本市で平成九年から十年に環境センター（前浜）に隣接して建設する予定の市総合体育館は、この八コート使用が可能な規模となります。

高知国体推進リーダー（仮称）とは

県および市町村から国体に関する情報の提供を受けて、高知国体に関する広報活動や、各種行事への参加を任務とします。さらに二〇〇二（平成十四）年の開催年には、国体運営のボランティア活動の中心的な役割を担います。

市町村長の推薦に基づき、県準備委員会の会長（高知県知事）が委嘱します。県全体で二千二人、市では八十七人の予定です。